

田幸まちづくりビジョン (改訂版)

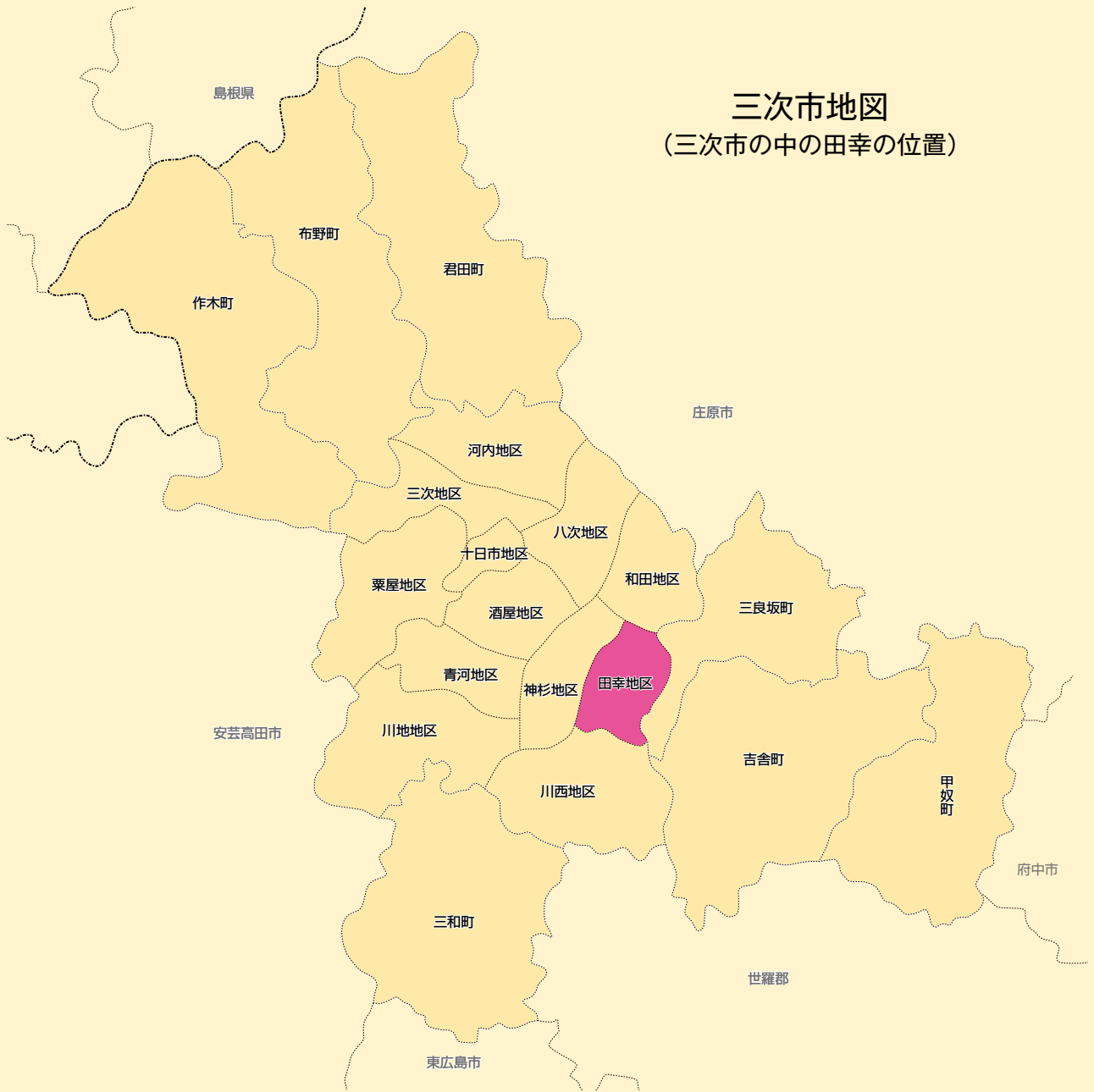
～安全・安心・笑顔の田幸～



2023 (令和5) 年3月

田幸地区町内会連合会

三次市地図 (三次市の中の田幸の位置)



悠久の森

01 まちづくりビジョン改定版の発行にあたって

田幸地区町内会連合会は、2007(平成19)年4月に、今後の田幸のまちづくりを推進していくための指標として、5年先、10年先の将来を見すえた「田幸まちづくりビジョン」を策定しました。

そして、策定から時は流れ、人口減少、少子高齢化にも拍車がかかる中で、地域をとりまく環境も大きく変わっていきました。

平成25年には田幸地区自主防災会が結成され、平成29年には念願の健康増進施設「いきいきランド田幸」が完成するなど、地域力の向上につながる組織の誕生や、地域の拠点となる施設が誕生しました。

加えて、子育て環境づくり、住民自治のあり方、地域交通や空き家の問題などの課題も年々浮上してきました。

このようなことから、田幸まちづくりビジョンを社会環境の変化や住民の新たなニーズを踏まえたものとして、田幸地区の将来像をみんなで見すえ、地域の活性化のために、これを全面的に見直し、作り直すことにしました。「改訂版」はこうして誕生しました。

02 まちづくりビジョンの計画期間

2023(令和5)年度から、2032(令和14)年度までの10年間とします。

03 まちづくりビジョンの策定過程

「田幸まちづくりビジョン」は、2007(平成19)年に初めて策定され、10年後に見直し改訂される計画でしたが、この間「理論よりも年々の実践が大切」ということで、見送られていました。

「令和」の時代となり、令和2年度の「連合会総会」において、まちづくりビジョンの重要性が再確認され、喫緊の課題として、「時代に即した見直し・改訂」の必要性が確認され、承認を受けました。

これを受けて、連合会長の諮問(要請)を受けた11人の「策定検討委員会」(課題検討委員会)のメンバーが選出され、令和4年2月末日までに度重なる議論が行われました。そして、令和4年3月に個別の事業の

見直しや、「田幸地区アンケート」の活用、三次市が委託した一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所の分析結果の反映などを盛り込んだ「答申書」が完成し、連合会長に提出されたのです。

そして、令和4年度に入り、新たに町内会連合会三役と常任理事12人で構成された「改訂版策定委員会」が5月23日に発足。

毎月1回、夜に開催する「策定委員会」でこの改訂版が完成しました。

04 まちづくりビジョンの理念 (私たちがめざすもの)

「田幸地区住民の、田幸住民による、田幸住民のためのまちづくり」を基本にして、持続性のある、「安全・安心・笑顔の田幸」をみんなが実感できるまちづくりをめざします。

田幸町章旗



この町章は、1988(昭和63)年に田幸公民館が募集して、多くの候補作の中から選考され制定したものです。原作者は、下井田常会の山口末夫さん(故人)です。

輪郭になっている六角形は田幸地区の6つの町(糸井・大田幸・木乗・小田幸・志幸・塩町)を表し、その内には連帯を示す輪と田幸の『田』を描き、輪の底部には県内最大級を誇るホタテ貝式古墳「糸井大塚」をイメージしています。

『田』の文字の内には基盤整備のできた圃場に豊かに実る稲穂の黄金色、輪は地域を流れる美波羅川の清流の青が配色され、とても色彩豊かです。

05 5つの基本目標

I



命を守る
自主防災会活動のまち田幸

▶ ともに支えあい協力し、
持続する自主防災活動
の推進

II

安全・安心で
住み良いまち田幸

▶ 安全・安心で暮らせる
環境づくりの推進



III

交流とふれあいのまち田幸

▶ コミュニティ活動の推進



IV



健康で心豊か・感性豊かな
文化の薫るまち田幸

▶ 教育・文化・スポーツ
健康づくりの推進

V

住んで良かった、
住んでみたいまち田幸

▶ 福祉の充実、定住対策と
楽しくユニークな行事の
推進



06 まちづくりの課題と施策

I 命を守る自主防災会活動のまち田幸

◆ ともに支えあい協力し、持続する自主防災活動の推進

① 田幸地区自主防災会(平成 25 年度発足)の年度ごとの「活動計画」に沿った、自主防災活動を推進します。

- 自主防災会と地域を結ぶ「緊急連絡網」の年度更新と活用
- 本部及び避難所の防災備品の整備と食糧等の備蓄品の効率的な活用と買い足しを行う(ローリングストック法の徹底と継続)
- 防災研修会の実施
- 田幸地区住民の防災・減災意識の向上
- 防災士の養成・育成援助
- 「防災井戸」の啓発と地道な増設の呼びかけ及び周知とマップ作り



② 今後、検討されるべきもの

- 三次市行政(三次市災害対策本部及び危機管理課)との連携強化
- 「田幸地区防災計画」の策定(組織の方針を確認)
- 防災訓練の実施(マイタイムラインに沿った避難行動、避難所開設訓練、防災用品の理解と活用の実践的訓練)
- 東部地区(塩町中学校区) 防災運動会の実施



Ⅱ 安全・安心で住み良いまち田幸

◆ 安全・安心で暮らせるしくみ（環境づくり）を推進

① 子ども、高齢者に対する安全・安心な環境づくり

- 子ども、高齢者の見守り活動、声かけ運動の実施
- 子どもたちの安全・安心な居場所づくり
（放課後子ども教室の運営、保育所保護者会・小中学校PTA・青陵高校PTA等と連携した講演会の実施や行政への要望活動など）
- 次世代を育くめる子育て環境の整備



② 「青少年育成・生活安全部会」の事業を軸とした安全・安心のまちづくり（青少年田幸町民会議の事業も含む）

- 青色防犯パトロール活動の実施
- カーブミラー一斉清掃の実施（田幸地区内全域）
- 保育所・小学校・中学校・高等学校との安全・安心ネットワークづくり



③ きれいなまち、自然環境保全活動

- 草刈り・環境整備事業
- 農用地保全のしくみづくり
- 道路美化清掃（花いっぱい運動もあわせて行う）
- 自然環境の保全（ゴミのポイ捨て、不法投棄を許さない取組み）
- ほたる祭りの開催（地元実行委員会との連携）
- 「森づくり事業」等の新規事業導入の検討
- 「森林整備事業」の活用



Ⅲ 交流とふれあいのまち田幸

◆ コミュニティ活動の推進

① 魅力ある地域イベントとコミュニティ活性化イベントの開催

- 「農業文化祭」、「ポプラマラソン」の継続開催
- 若者に目を向けたイベントの企画とイベントの実施
- 田幸町民運動会の復活開催



② 住民の協働によるまちづくり体制

- 町章とイメージキャラクター「田幸まるごとちゃん」の活用
- 生きがいと安らぎを求め、多くの場所での「サロン」開催
(三次市健康推進課、三次市社会福祉協議会との連携)
- 東部地区自治連合会連絡協議会としての事業推進
(田幸・神杉・和田・川西の4コミセンによる合同事業)

③ ボランティア団体等と連携したまちづくりの推進

田幸まるごとちゃん



※このイメージキャラクターは、2006年度（第21回田幸農業文化祭）において3点の候補作の中から選んでいただき、決定したものです。「田幸まるごとちゃん」は、愛らしく温かみを感じるイメージで制作されたものです。

Ⅳ 健康で心豊か・感性豊かな文化の薫るまち田幸

◆ 教育・文化・スポーツ・健康寿命を延ばすための健康づくりの推進

① いきいきランド田幸を活用した健康増進活動とスポーツ振興

- いきいきカフェ・サロン活動など幅広い年齢層が気軽に使用できる施設環境整備
- 三次市の健康づくり拠点施設としての機能の充実（トレーニングマシンを使った巡回指導教室など）
- 身近な健康増進施設としての機能充実をはかる（健康器具とトレーニング機器の整備）
- リバーフロントの絶好のロケーションを活用したイベントの実施（イルミネーション、「禁ぐらしマーケット」、^{ふもと}「夕涼み会」（夏まつり）等のイベント会場として）
- グラウンドゴルフ場の整備と活用と普及活動
- 田幸GG（グラウンドゴルフ）同好会との連携
- 田幸健康増進施設管理運営委員会による安全・安心な施設管理



② 生涯学習・文化活動の推進

- 各種講座、各種講演会やセミナーの開催
- 歴史・伝統文化の継承と活用
- 各種文化活動の支援
- 「広島県立歴史民俗資料館」（風土記の丘）との事業連携
- 体育・生涯スポーツの振興



V 住んで良かった、住んでみたい、持続するまち田幸

◆ 福祉の充実、定住対策と楽しくユニークな行事の推進

① 福祉の充実（社会福祉・地域福祉）

- 社会福祉部会を中心とした各種福祉事業の充実（敬老会、ひな弁当、ひとり暮らし高齢者の見守り活動など）
- 認知症に対する正しい理解のための啓発活動
- 地域ケア会議を立ち上げ、市行政と連動した支援活動の推進（高齢者支援の充実とそれを支える地域基盤の整備）
- 三次市行政と連動した田幸に適した地域交通サービス事業の実施（高齢者等に優しい地域交通システムの研究と確立）

② 空き家対策と定住対策（人と地域をつなぎ、結ぶ支援活動）

- 集落支援員配置による空き家調査活動と定住促進活動
- 定住者・移住者へのアンケートの実施と「集い」の開催
- 持続する農業のための後継者・担い手の発掘

③ 住んでみたいまち「田幸」の創造

- 若者の活動支援と住民自治組織の活性化
- 「田幸つながりの人」を増やす活動
- 豊富な社会資源と地域資源の活用



田幸地区の概要 (プロフィール)

田幸地区は、人口約 1,300 人（令和 4 年 12 月末現在）で、三次市の東部に位置し、東は三良坂町、西は神杉地区、南は川西地区に隣接し、中央の平坦地に美波羅川、北沿いには馬洗川が流れています。

地勢としては、高地で糸井町の大仙山が 401m、低地では塩町の美波羅橋下流の地点で 164m でその中に位置しています。面積は、18.63km²（東西 5,370m、南北 4,860m）です。

「おおだこう大田幸」、「こだこう小田幸」、「いと糸井」、「しこう志幸」、「きのり木乗」、「しおまち塩町」の 6 町からなり、1956（昭和 31）年に設立した田幸公民館による公民館活動がスタートし、2005（平成 17）年からは公民館組織を母体とする田幸地区町内会連合会に再編成され、停滞することなく地域づくり・人づくりの活動が継続し、今日に至っています。施設の名称も、「公民館」から「コミュニティセンター」に改められました。

美波羅川と馬洗川、井田川筋を中心とした平坦で肥沃な農耕に適した地域で、自然が豊かで歴史・文化の豊富な地域です。

産業は、第一次産業を中心とし、農業と畜産業が盛んな地域です。中でも、「野菜類」、「豆类」、ぶどう・なし・桃の「果実」の生産が盛んです。

田幸の歴史は古く、「塩町式土器」で知られる弥生時代中期の塩町遺跡（現三次青陵高等学校の敷地全体）を筆頭に、県内最大級の「糸井大塚古墳」などの古墳やたくさんの「遺跡」が点在しています。

田幸地区町内会連合会内の「まち」を紹介します

区	田幸地区の区域名
1 区	<small>いと</small> 糸井
2 区	<small>かみだに</small> 上谷・ <small>かみじょう</small> 上定・ <small>ほんごう</small> 本郷・ <small>ごたんだ</small> 五反田
3 区	<small>のぶさだ</small> 信貞
4 区	<small>はたけばら</small> 畑原・ <small>うえの</small> 上ノ段・ <small>やだに</small> 矢谷・ <small>よりに</small> 寄国
5 区	<small>かみしこう</small> 上志幸・ <small>かみい</small> 上井田・ <small>しもい</small> 下井田
6 区	<small>しこう</small> 志幸・ <small>さんまんじ</small> 三万寺
7 区	<small>しおまち</small> 塩町



▶▶▶ 田幸地区町内会連合会内の「社会資源」(地域の宝)を紹介します

(令和4年10月1日現在)

01

田幸コミュニティセンター

1956(昭和31)年、田幸公民館として設立。現在では、田幸町内会連合会の事務局。

02

いきいきランド田幸

2017(平成29)年度開設。トレーニング室、サロン室、休憩室を備え、屋外にはグラウンドゴルフ場があります。運動や交流の場として、地域の健康寿命を延ばす拠点施設です。

03

悠久の森

三次市斎場として2012(平成24)年開設。ロビーには、陶板で原寸大に再現した奥田元宋の絵画「寂静」(じゃくじょう)が展示してあります。

04

三次市立田幸保育所

1961(昭和36)年開設。23人の児童。令和元年度から「未満児保育」が継続されています。

05

三次市立田幸小学校

1875(明治8)年開設。150年余の歴史の中で、児童数43人。ポプラの木がシンボル。

06

三次市立塩町中学校

1971(昭和46)年に塩町校舎から、現在地へ移転。生徒数は三次市で2番目の200余人。

07

広島県立三次青陵高等学校

1920(大正9)年創立。100年以上の歴史の中で7回の校名変更は珍しい。生徒数は、240人。校訓は、「自主・創造・開拓」。

08

広島県立歴史民俗資料館

1976(昭和51)年開設。「風土記の丘」として親しまれている、県内唯一の施設です。

09

富士三次カントリークラブ

1977(昭和52)年開設。名手・中村寅吉設計のゴルフ場。プロ公式戦が何度も開催されたコースです。

10

ゆうしゃいんCCM

2020(令和2)年設立。障害者グループホーム相談支援事業所です。「みんなの地域生活支援拠点」を目指す施設です。

11

コージーガーデン

2012(平成24)年オープン。「ゆうしゃいん」のパン・レストランがある施設です。

12

ゆうしゃいん塩町

2010(平成22)年オープン。小規模多機能型居宅介護事業所。避難場所としても、大変役立っています。

13

J R 塩町駅

1930(昭和5)年に田幸駅として開業。福塩線と芸備線の拠点駅。交通の要所です。

▶▶▶ ① 田幸の人口のうつりかわりと定住促進の取組みについて

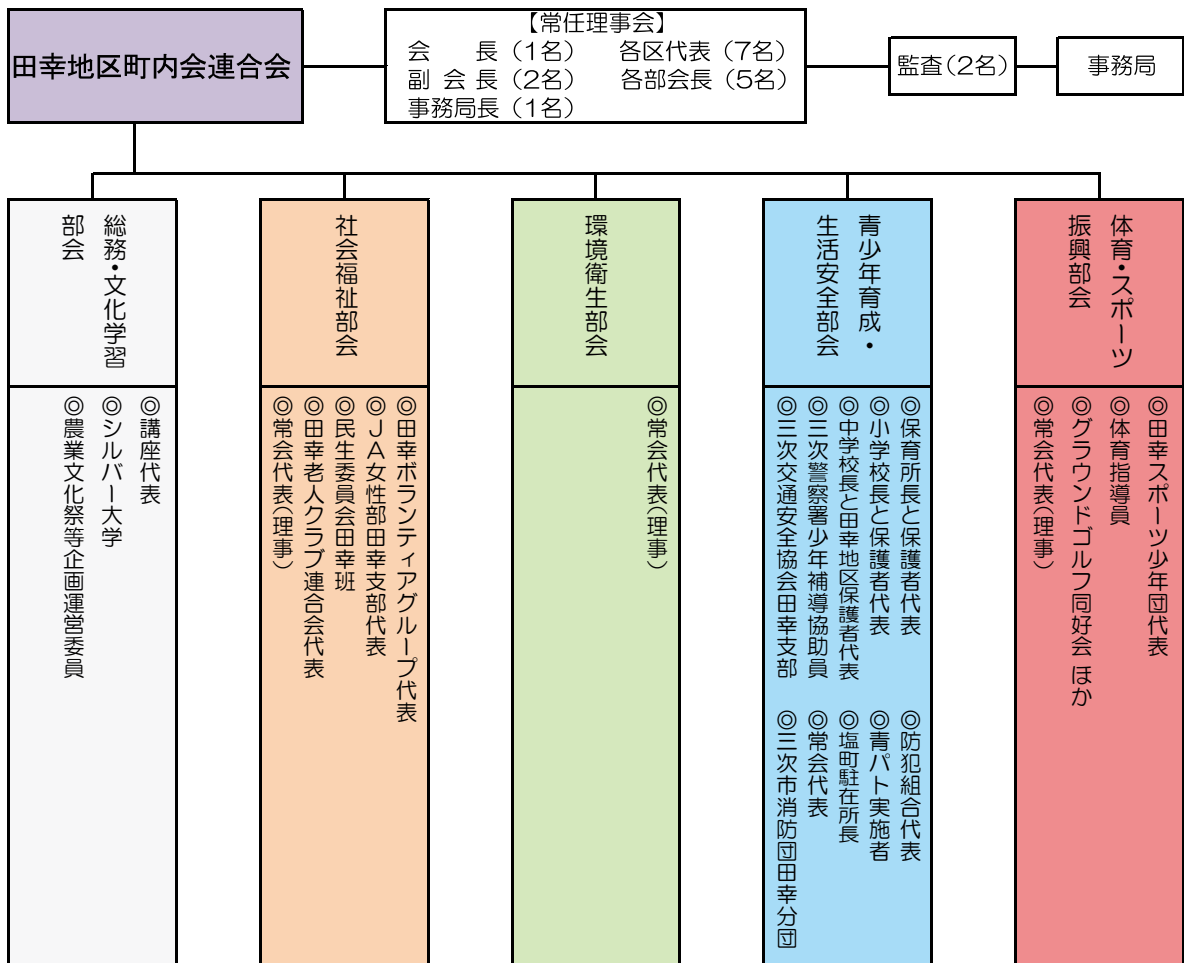
1955（昭和30）年の3,098人（644戸）をピークに、田幸地区の人口は、過疎化現象によって減少の一途をたどっています。

「平成」に入り、2,000人（約550戸）を切り、令和4年10月1日現在では1,325人（563戸）となっています。

一方、「平成」の終わりごろから「令和」に入って、交通アクセスも良くなり、Uターン者や空き家への移住者が増えてきているのは非常に喜ばしいことです。

今後とも、子育て環境の整備などを通して、集落支援員と力を合わせて定住促進の取組を行い、住み続けたい・暮らしてみたい・帰ってみたい、魅力あるまちづくりを続けていきます。

田幸地区町内会連合会組織図



※田幸地区自主防災会は、2013（平成25）年度に発足。田幸地区町内会連合会が事務局を担っています。

※この地図は、2001(平成13)年に田幸郷土史研究会が作成した「田幸郷土史マップ」を再現したものです。本誌への掲載にあたっては、原則、新たに建設された施設を加え、撤去された施設等については抹消していますが、道路等の表示については、2001年現在のものです

資料編 5

田幸地区
マップ





糸井大塚古墳



みよし風土記の丘



J R 塩町駅

おわりに

「安全・安心・笑顔の田幸」を基本目標にかかげ、10年後の田幸を見すえて、五つの柱を設定し、個別の事業内容を織り込んでいきました。

また、本ビジョンの改訂版策定にあたっては、関係団体、関係機関の皆様方はもとより、策定委員を通じて田幸住民の皆様方からも、ご意見をいただきましたことに、深くお礼を申し上げます。

田幸地区のまちづくりの主役は、私たちです。まちづくりを進めていくこと、個々の事業内容が実現可能となるためには、創意工夫と連携・協力が重要であることは言うまでもありません。

そして、田幸地区に関わっていただいている関係団体の皆様のご支援、三次市行政との連携（協働）も大切になっています。

私たち、一人ひとりの努力で誰もが安心して暮らしやすい魅力的で持続可能なまちづくりをめざしていきましょう。



田幸コミュニティセンター



いきいきランド田幸

田幸まちづくりビジョン(改訂版)策定委員会

委員長	黒瀬隆則（田幸地区町内会連合会 会長）
副委員長	藤原直子（田幸地区町内会連合会 副会長）
副委員長	免田拓也（田幸地区町内会連合会 副会長）
委員	出口彰（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	原田豊春（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	湯浅良夫（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	亀次倭佐夫（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	原田耕行（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	片岡哲哉（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	山本広吉（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	坂本高宏（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	森大和（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	片岡昭亜（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	和田博雄（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	末宗大富讓（田幸地区町内会連合会常任理事）
委員	免田敏彦（三次市集落支援員田幸地区担当）
編集委員	古川三平（田幸地区町内会連合会事務局長）
編集委員	中廣章子（田幸地区町内会連合会事務職員）

田幸まちづくりビジョン(改訂版)

～安全・安心・笑顔の田幸～



糸井町美波羅川の夜桜風景



旧甲名橋に泳ぐ鯉のぼり



富士三次カントリークラブ



三次青陵高等学校



塩町中学校



田幸小学校



田幸保育所



上井田のぶどう



上井田の梨



コージーガーデン

田幸地区町内会連合会

〒729-6211 三次市大田幸町 342 番地 5

TEL&FAX (0824) 66-1162

e-mail : takoh@m-city.jp